

30年1月21日(日)

防災訓練を実施します

市では、防災先進都市を目指し、初の市内一斉防災訓練を実施します。訓練は3種類です。

いざという時に役立ち、どなたでも参加できる訓練を実施しますので、自治区や自主防災組織、各企業、団体、ご家族でご参加ください。もちろん、個人参加もできます。

いつ起こるか分からない災害に備え、自分の身を守り、大切な人の安全を確保する手段をみんなで学びましょう。

常総市防災訓練

① シェイクアウト訓練・避難訓練		② 新災害情報伝達システム		③ 避難所運営の実習	
目的	年齢問わず一人でも多くの市民が参加する。	目的	水害時の教訓である伝達手段を改善する。	目的	避難所における市民の円滑な受け入れを可能にする。
訓練の内容	それぞれが置かれている場所・状況で、地震の想定に基づき、3つの安全確保の行動を実施する。また、指定避難所まで移動する訓練もあわせて行います。	訓練の内容	訓練の内容 高齢者・外国人・市外からの来訪者に的確に避難指示・情報を伝達(検証)する訓練を行います。	訓練の内容	各指定避難所に市職員を配置し、開錠・準備・受付を実施します。また、避難所で生活する際に必要な基本的事項を説明し、段ボールベッドなどの作製実習、保存食の試食を行います。

当日のスケジュール

時間	訓練項目	場所	参加者
8:30	新災害情報伝達システムで地震情報を伝達	自宅、学校、企業・団体の職場など ※車・自転車などで移動しているときは危険ですので訓練に参加しないでください。	訓練を希望する市民、企業・団体など
8:35	シェイクアウト訓練(1分程度)		
8:35	新災害情報伝達システムで避難指示を伝達	自宅~近くの指定避難所 ※消防団による避難広報・誘導および警察署による一部地域での交通整理を行います。	シェイクアウト訓練は事前登録制です。
9:30	指定避難所まで各人で移動		
	指定避難所における市民の円滑な受入・受付	指定避難所(3ページ参照)	
市全体で共通して行う訓練はここまでです。指定避難所に移動し受付した後、各自解散してください。			
9:30	避難所で生活する際に必要な基本的事項の説明	石下中学校、豊岡小学校	左記の学校近くで参加を希望する、希望される市民、企業・団体職員など
10:30	段ボールベッドの作製実習、保存食の試食		
10:30	所見発表(訓練を振り返った感想)		
11:00			

※雨天決行します。もし、実際に災害が起きた場合は訓練を中止します。

市では、来年度以降も、水海道地区・石下地区ごとに避難所運営の実習などを、今回未実施の指定避難所において実施する予定です。

また、将来的には、市の災害対策本部の開設・運営と並行して、自主防災組織と連携した避難所の準備・受付などの訓練も予定しています。

① シェイクアウト訓練・避難訓練

2008年に、アメリカのカリフォルニア州で始まった訓練です。地震の想定に基づき、指定された日時に地震から身を守るため、3つの安全確保の行動(①まず低く②頭を守り③動かない)を行います。会場などに集まることなく各人がいる場所(自宅、職場、学校など)で参加することができます。防災行政無線や新災害情報伝達システムによる地震発生訓練放送を聞きながら約1分間行います。

世界各国や国内各地で実施されている訓練で、県内では水戸市、つくば市、筑西市などで実施されています。本市としては、今回の訓練を「日本シェイクアウト提唱会議」に申請し、公式認定を受ける予定です。



事前登録

事前に人数を把握するために行います(登録していないと訓練に参加できないわけではありません)。登録は、所定の様式に必要事項を記入し、メールもしくはFAXでご送付いただけます。
※詳細につきましては、市ホームページおよび広報常総お知らせ版12月21日号に掲載しますので、そちらをご覧ください。

シェイクアウト訓練終了後、避難指示が出ましたら、右記の最寄りの避難所へ移動してください。

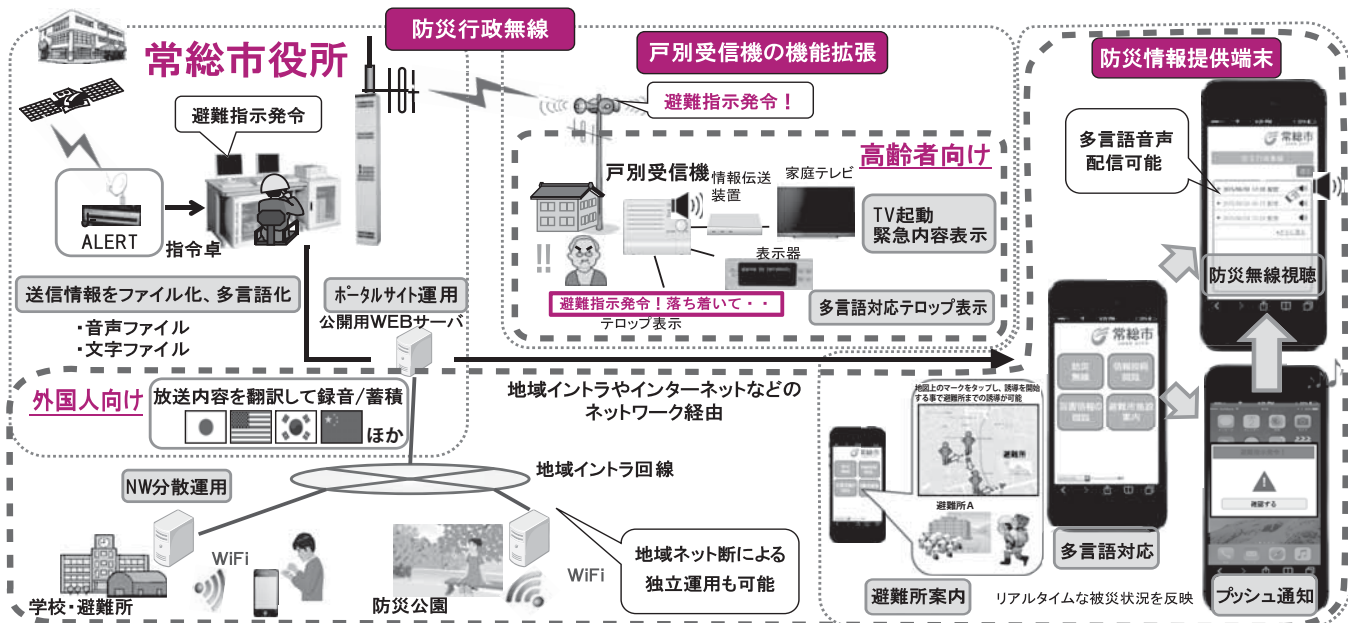
○自宅などから避難所への移動手段は、実災害時の交通渋滞や駐車場が限定されることを考慮し、徒歩または二輪車をご利用ください。その際、高齢者・幼児など付き添いが必要な場合は交通安全に十分留意してください。

○避難所内での中履き(スリッパなど)は各自持参してください。

水海道地区		石下地区
生涯学習センター	菅原小学校	豊田小学校
水海道小学校	豊岡小学校	石下小学校
大生小学校	水海道西中学校	石下中学校
五箇小学校	水海道総合体育館	玉小学校
鬼怒中学校	あすなろの里	岡田小学校
三妻小学校	菅生小学校	石下西中学校
大花羽小学校	絹西小学校	飯沼小学校
今回の訓練で使用する22か所の指定避難所		石下総合体育館

② 新災害情報伝達訓練

高齢者、外国人、市外からの来訪者に的確に防災情報を伝達するために、防災行政無線の戸別受信機とテレビ、テロップ表示器などを連動させて分かりやすく文字表示する機能拡充や、防災情報のプッシュ通知(多言語対応)を行うスマートフォンアプリの整備を行います。今回の防災訓練にあわせて、各機能の有用性の検証や課題の検討を行い、**来年度から本格的に運用する予定です**。なお、今回の検証で使用する戸別受信機は100台で、高齢者や障がいのある方、外国人の個人宅や福祉事業所に設置して実施します。また、スマートフォンについては、アプリをインストールした方を対象として実施します。



③ 避難所運営の実習

避難訓練終了後、石下中学校、豊岡小学校で避難所運営の実習を行います。避難所で生活する際に必要な基本的なことを学んだり、段ボールベッドの作製や保存食の試食を行います。
※それ以外の避難所は、避難訓練が終了次第、解散となります。



◆問い合わせ＝☎防災危機管理課(内線2220)